

大自然有り、歴史ありの国境の島

対馬 (つしま)



長崎離島
MAP

福岡空港発 ANAで行く！

対馬(つしま)の島旅 3～4日間

羽田空港
からの
フライトの
一例

羽田→福岡→対馬		
①	ANA241便	羽田 (07 : 30) →福岡 (09 : 20)
	ANA4682便	福岡 (10 : 05) →対馬 (10 : 40)
②	ANA251便	羽田 (11 : 35) →福岡 (13 : 25)
	ANA4935便	福岡 (13 : 45) →対馬 (14 : 20)

対馬→福岡		
③	ANA4636便	対馬 (14 : 50) →福岡 (15 : 25)
	ANA260便	福岡 (16 : 15) →羽田 (18 : 05)
④	ANA4940便	対馬 (19 : 15) →福岡 (19 : 50)
	ANA272便	福岡 (20 : 40) →羽田 (22 : 25)

料金等細かな詳細はお問い合わせ下さい。

現在店舗営業は休業しておりますので
メール✉又はFAX☎にてお願いします。

住所: 〒110-0016 東京都台東区台東4-30-8 宮地ビル本館7F
ホームページ <http://www.handmadetour.jp>



ハンドメイドツアー

mail : tour@handmadetour.jp

FAX : 03-5812-7085

厳原ってどんなところ？

厳原は、古代から対馬の国府が置かれ、今も対馬の玄関口として、対馬空港から車で20分ほどで着く島内で一番にぎわっている町です。博多港からの高速船が到着する港もあります。

●金石城（金石屋形）

1528年の内乱で焼失した宗家の前屋形（池の屋形）に代わって建てられたのが金石屋形。櫓門、城壁など復元ですが、国の史跡に指定されており、城内で発掘調査された庭園も国の名勝に指定されています。

写真提供：長崎県観光連盟



●武家屋敷跡

対馬藩の城下町だった厳原。武家屋敷があったところは独特の石垣塀が囲い、当時の面影を残しています。ただ近年老朽化が進み、この石垣も少なくなっているそうです。

●万松院（ばんしょういん）

1528年の内乱で焼失した宗家の前屋形（池の屋形）に代わって建てられたのが金石屋形。櫓門、城壁など復元ですが、国の史跡に指定されており、城内で発掘調査された庭園も国の名勝に指定されています。

●対馬藩お船江跡

厳原中心地から車で5分ほどのところにあります。江戸時代、対馬藩が久田川の河口に藩船を格納するために構築した船着場の跡。満潮時には木造の大船が出入できる程の広さと深さがあり、干潮時には干上がるように出来ています。現在の遺構は寛文3年（1663）に造られましたものですが、築堤の石積みは当時の原形を保ち、これほど原形を保存している所は全国に無いといえます。

●小茂田浜（こもだはま）神社

厳原の市街地から島の反対、大陸側の海に面した小茂田浜。現在は海水浴場になっている白浜ですが、かつては元寇による最初の襲撃を受けた場所です。

2回の元寇のうち最初の文永11(1274)年10月5日、900艘の艦船に分乗した元・高麗連合軍3万人が佐須浦（小茂田浜）に襲来。

守護代の宗資国以下主従80騎で防戦に努めましたが、全員が討ち死。小茂田浜神社には、宗資国をはじめとする戦死した将士の霊を祀っています。



島中部～北部のみどころ

島中部～北部にかけては、この島ならではの珍しい景勝地にズバリ！

● 和多都美（わたづみ）神社

浅茅湾（あそうわん）に面し、独自の竜宮伝説に基づく彦火火出見尊と豊玉姫命の夫婦神を祭る海宮。本殿正面の5つの鳥居のうち2つは、海中にそびえ、干潮時には一番外側の海中鳥居「一の鳥居」まで歩いていくことも。逆に、浅茅湾の観光船で、海から神社を望むことも可能です。

(20年9月の台風10号により一の鳥居は倒壊。現在再建計画中です)

● 烏帽子岳（えぼしだけ）展望台

烏帽子岳（標高176m）は、対馬の中央に広がる浅茅湾（あそうわん）の北岸に位置し、360度をぐるりと見渡せる展望台です。

東には対馬海峡、西には朝鮮海峡が広がり、複雑な入り江と無数の島々がおりなす典型的なリアス式海岸の景観を一望できます。

● 韓国展望所

韓国まで49.5kmの至近距離にある上対馬町は、まさに「国境の町」です。

韓国展望所は対馬の北端部に位置し、天気の良い日には韓国釜山市の町並みが望め、釜山の夜景も人気です。

● 白嶽（しらたけ）

白嶽は古来より霊山として崇められた対馬のシンボリック的存在。標高519メートル。登山口から山頂までの距離2.2キロ。低地部は、大陸系植物と日本系植物が混生する原生林が広がり、頂上付近は急傾斜の岩場となります。登山中級者以上向けです。



(C)対馬観光協会

● 金田城

（かなたのき・かねだじょう）

663年の白村江の戦いで大敗し、唐・新羅の侵攻に備えるため、天智天皇は、667年、この対馬・浅茅湾南岸に突き出した「城山」（じょうやま・標高276メートル）に「金田城」を築き、東国から召集された防人たちが城山山頂から朝鮮半島を睨み続けたといわれます。

それから1200余年後、同じくこの城山には日露戦争に備え、砲台が築かれることにもなりました。



写真提供：長崎県観光連盟

● 姫神山（ひめがみやま）砲台跡

明治期を代表する砲台跡です。施設は、赤レンガと砂岩で造られており、今では周囲の自然と調和・融合し、レトロな雰囲気美しい空間を醸し出し「天空の要塞」とも呼ばれています。



(C)対馬観光協会

対馬グルメ&体験プログラム編

対馬グルメについて

海の幸は、言うまでもなく豊富。アカアマダイ、クエ(あら)、アカムツ(のどろ)、太刀魚、アナゴ、サバ、ウニ、サザエ、ヒラマサや寒ブリも魅力ですよね。イカ漁も盛んで、剣先、水イカ、スルメイカなど…種類も豊富。行った時々で、旬な魚介をお召し上がりください(^^)/



写真提供: 長崎県観光連盟

● 対州そば

対州とは、対馬の別名。元々ソバは、縄文時代に朝鮮半島から対馬を経て、各地に伝わったとされていますが、対州そばは、その原種に近いソバのことを言います。今、多くある種に比べ生産量が低く、小粒ですが、ソバ本来の風味が強いのが特徴です。



写真提供: 長崎県観光連盟

● 郷土料理「いりやき」

地鶏やメジナ、ブリなどの魚と、たっぷりの野菜を具材とする寄せ鍋です。鶏や魚を椿油で炒めてから鍋にすることから、「いりやき」と呼ぶようになったともいわれています。対州そばにかけて食べる「いりやきそば」も有名です。



写真提供: 長崎県観光連盟

● 対馬とんちゃん

戦後、北部の上対馬で在日韓国人から伝えられた味付きの豚焼肉を元に、対馬流にアレンジされていったもの。他の地方では「とんちゃん」と言うとホルモン焼き(内臓)を指す場合がありますが、対馬のとんちゃんでは豚肉が使われています。



● 対馬バーガー

通常のパテの代わりに対馬特産のイカのステーキとひじきを練りこんだ晩肉のパテをパンで挟んだバーガー。



● あなご料理

対馬のあなごは、肉厚がよく味もしっかりしているのでとっても美味しいです。対馬旅行に行ったら1度は入りたいですね。



『体験プログラム』について

～対馬を体感できるプログラム～



● ガイド案内

対馬を精通したガイドさんと一緒に対馬を深掘り！



● 浅茅湾クルージング

自然海岸線の総延長距離が日本一を誇る浅茅湾のクルージングの旅。



● シーカヤック体験

小舟の大冒険へ。専門ガイドが同行しますので、未経験でも安心です。